

## 株式会社名村造船所

さくらじまこう  
桜島港施設整備工事

## [概要]

桜島フェリーは1日65航海(130便)24時間運航しており、年間乗客約520万人、航送車両約153万台と世界屈指の輸送量を誇っている。現在船舶5隻を保有し、桜島地域と鹿児島市街地のみならず、薩摩・大隅両半島を結ぶ重要な役割を担っている海上交通機関である。生活航路・通学航路としてはもちろん、鹿児島市の観光振興にも寄与している。また、桜島の噴火災害に備えて桜島の各所にはフェリーが着岸できる場所が設けられており、災害発生時には島民の避難として利用できるように整備されている。

1972年に建てられた旧ターミナルは老朽化が進み、耐震補強も必要だったため、鹿児島市が2016年から改修工事を進めてきた。

本工事は新フェリーターミナル工事に合わせて第2・3・4バースの車道橋と人道橋をリニューアルする工事である。工事期間中も桜島フェリーの利便性を確保しながら、工事が進められた。

発注者：①株式会社三井E&S鉄構エンジニアリング 殿 / ②南生建設株式会社 殿

工事名：①桜島港施設整備工事(その1) / ②桜島港施設整備工事(その8)

引渡場所：鹿児島県鹿児島市桜島横山町

竣工：2020年3月23日

## [仕様]

橋長：車道橋 120.358m 人道橋 142.134m

幅員：車道橋 3.6m 人道橋 4.8m

鋼重：車道橋(固定)196t、車道橋(可動)201t、人道橋(固定)234t、人道橋(可動)82t

鋼種：SS400, SM400A, SM490Y

橋梁形式：鋼ラーメン橋



竣工写真